球技室

概要

旧公会堂が建てられた直後に、球戯台のあるこの部屋で、商人や政治家が交流しました。 ビリヤードは、江戸時代（1603〜1868）に日本に紹介され、明治時代（1868〜1912）に商人、政治家、華族などに人気となり、その後一般にも普及しました。

撞棒立て

この台はビリヤードのキューのために使われていました。

天井・中心飾

旧公会堂では、部屋の用途に応じて異なる装飾が部屋や天井に施されています。球戯室には、木製の格縁と洗練された中心飾が施された漆喰天井があり、洗練された雰囲気を醸し出しています。

シャンデリア（復元）

シャンデリアは天井の中央から垂れ下がっており、大小の食堂と同じ花のモチーフの装飾になっています。

サイドボード

函館の家具職人が旧公会堂の家具を作成しました。日本や中国のデザインを取り入れつつ古典的な洋風様式をしています。 このサイドボードは飾棚を兼ねたもので、テーブルクロスや食器の保管にも使用されます。

帽子掛付傘立

貴賓の来客の場合、馬車や車で玄関の車寄せに直接運転されるため、傘を持っておりません。 そのためこの傘立は、1階の各部屋に設置されたものと思われます。